

令和3年度 新庄村立新庄中学校 学校評価(自己・学校関係者)評価書

評価	A:期待以上	【目標を達成した】
	B:ほぼ期待通り	【おおむね目標を達成した】
	C:やや期待を下回る	【あまり目標を達成できなかった】
	D:改善を要する	【目標を達成できなかった】

自己評価			学校関係者評価		
項目	評価	分析・改善の方策等	項目	評価	自己評価に対する意見等
教育全般	B	「学校へ行くのが楽しい」について、ほとんどの生徒が肯定的な意見である。否定的な意見の生徒もいるので、日常の声掛けや教育相談などを通して生徒理解に努めていく。また、授業や学校行事で生徒が主体的に活動することによって、自己肯定感を育てていく。	教育全般	A	・目に見えて時代が変わっている。次の時代と社会をつくる子どもたちのために、大人がスピード改革する時である。
授業改善	B	「授業は工夫されて分かりやすい」について、肯定的な意見がほとんどであるが、否定的な意見も少数ではある。今後も研究授業やICT機器（プロジェクター・タブレット機器）の研究などを通して授業改善に取り組んでいく。	学習指導	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は人生にとって大切なことである。生徒の良いところを伸ばして、成長・進化・意識改革させてほしい。そのためには、先生方に今まで以上の努力と工夫が求められる。</li> <li>・「ふるさと新庄学」のなかで、海ごみの回収をしたり、『海ごみフォーラム』で発表したことは、大変良かった。山と海が一本につながっている現実を目のあたりにすることで、奥深い体験ができたと思う。</li> <li>・授業参観した時に、「シンキングツールはどれを使ってもよい」と先生が言われたら、生徒たちは自分でシンキングツールを選んで取り組んでいて、大変良かった。</li> <li>・ICT授業ということで、授業のほとんどの時間をタブレットを使っていた。鉛筆やペンを使って書くことも大切であると思う。</li> </ul>
学習評価	B	新学習指導要領の全面実施になったことを考慮して評価している。今後も評価について研修を行い、生徒・保護者に分かりやすい説明を行うように取り組んでいく。			
家庭学習の充実	B	家庭学習についてやや課題がある。9月までは、家庭学習に取り組むための課題（ESP…毎日勉強するプリント）を計画的に渡して学校で確認した。10月からは、タブレットを持ち帰ってタブレットドリルを行っている。今後も、学校で自習時間を設けたり、タブレットドリルや自学ノート等を活用して、家庭学習を充実させる。			
体験的学習	A	「ふるさと新庄学」では、生徒が前年度の活動を元にして新庄村に貢献できることを考え、自ら課題を設定し意欲的に取り組んでいる。今年度は、与島で海ごみを回収したり、『海ごみフォーラム』で発表をした。2年生は職場体験学習に積極的に取り組むことによって、貴重な体験ができた。今後も、生徒自身が自らの成長を実感できるように工夫する。			
特別活動	A	生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。小中合同行事の企画・運営を行ったり、県北スマホサミットへ参加したりした。今後も、生徒が主体的に取り組める活動にしていく。			
規律・生活習慣	B	肯定的な意見が多くある。授業規律もきちんとしていて、落ち着いた学校生活が送れている。今後も、持ち物の整理整頓や授業中の姿勢など、日頃の生活面の指導もしていく。	生徒指導	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても落ち着いていて、みんなあいさつがよくできている。</li> <li>・朝ご飯をしっかり食べる・新聞を読む・与えられた仕事に楽しく取り組むことができる生徒を育ててほしい。</li> <li>・社会生活との関係性を分かりやすく教えていく。「世界の9割は理不尽でできている」ということを伝えていく。</li> <li>・いじめが起こった時に、生徒支援委員会で協議して、全教職員で共有できている。</li> <li>・1年生の帰りの会を参観した時、生徒同士できちんと話し合いが行われていた。</li> <li>・職員室前の『今日の一言』が良い。今後も継続してほしい。</li> <li>・温室育ちで純粋すぎるので、高校入学後の大きなギャップが心配である。中学校卒業までに自己肯定感のある生徒を育ててほしい。</li> </ul>
共感的な集団作り	A	学級活動や生徒会活動では、仲間のやる気を引き出せるような活動を生徒自らが考え実践していけるようにしていく。また、学年縦割りの班活動でリーダー性の育成に努めていく。			
教育相談	A	定期的に生徒アンケートをとって、教育相談を行っている。また、生徒支援委員会で協議して、気になる生徒に対して教育相談を行って、全職員で情報共有した。今後も、生徒理解に努めていく。通常教育相談はもとより、日常の声掛けをしっかり行い、生徒のサインを見逃さぬよう努めていく。家庭との連携も密にしていき、学校の様子をお知らせしたり、保護者の方の気付かれたことを伺うよう心がけていく。			
いじめ防止	A	教育相談やアンケートによる早期発見と組織的な対応に努めている。また、いじめがあった時には、緊急の生徒支援委員会で協議して、すばやい対応を行った。今後も、道徳や学級活動を通していじめを許さない学級の雰囲気づくりに努めていく。			
保健・安全指導	A	今後も、健康診断結果の通知や保健だより等で「健康的な体づくり」「安全な生活」などの情報を発信していき、啓発を行っていく。保健体育や部活動などを通して体力の向上を図っていく。			
家庭・地域連携	A	学校の授業では、地域の方の支援をいただき充実した内容となっている。ふるさと新庄学や職場体験学習（今年度から2年生のみ）では、地域に出かけて多くのアドバイスや支援をいただいた。さくら祭り（今年度中止）やグラウンドゴルフを楽しむ会など、地域のみなさまと一緒に活動を行う活動を大切にしている。	家庭・地域連携	A	・職場体験学習では、農業と林業に従事して、日頃できない体験をしてほしい。また、自分に与えられた仕事を責任もって行うことで、自己肯定感を高めてほしい。